

いちのみやの芸術文化

起川



山晴春渡白鷗
飛绿水塔と映
錦衣時望紫烟
縈風開更歎尾
越早逢帰

中山 蔡邦錦

- 特集 「美濃路を通つた大名たち」
- 加入団体の紹介
- これからの催し



2009.6

第9号

一宮市芸術文化協会

起川(尾張名所図会)部分

一宮市には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館・木曾川資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。
私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

美濃路を通った大名たち

江

戸時代、美濃路は江戸と京都・大坂をつなぐ役割を持った重要な街道でした。市内の西部を通っており、起宿(おこしじゅく)と萩原宿が置かれていました。將軍や朝鮮通信使、琉球使節等、様々な通行があったことはご存知の方も多いと思います。しかし、美濃路を最も多く使用したのは主に西日本の大名(藩主)たちです。それは江戸時代初頭に確立した参勤交代という制度が大きく関係しています。今回は大名の通行という視点から美濃路を紹介したいと思います。

参

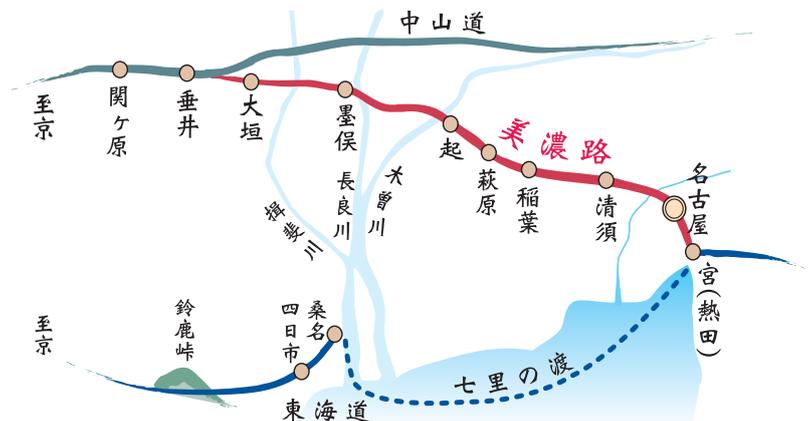
勤交代とは？

「尾張藩」、「大垣藩」といった「藩」という名称を時代劇等で聞くことがあるかと思いますが。その「藩」の主を一般的に大名と言います。一番大きな大名が「加賀一〇〇万石」で知られる加賀藩(前田家)です。参勤交代とは全国の大部分の大名に課せられた義務で、「参勤」とは家臣が主君のもとに、勤めに行く意味です。つ

まり、諸大名は徳川將軍のいる江戸に行き、一定期間は江戸の屋敷に住むこととなります。そして、期間が終わったら自分の領国に帰国し、入れ替わりで別の大名が江戸に入ります。本来、美濃路を含め、東海道や中山道といった全国の主要街道は、大名の通行や幕府役人の通行のために整備されたもので、江戸と領国を往復する大名行列が二〇〇年以上欠けることなく続きました。

(尾西歴史民俗資料館 学芸員 宮川充史)

街道略図



大

名と本陣

起宿の資料からは紀州藩や広島藩、彦根藩といった二十万石を超える大藩の通行が目立ちます。特に紀州藩は江戸時代半ばから美濃路を頻繁に使用しており、ほぼ毎回、起宿に宿泊していました。

大名の休泊施設として本陣があります。起宿の本陣は加藤家が、萩原宿の本陣は

森家が務めていました。起宿の本陣資料には「関札」という大名等の名前が記した木の札が多く残されています。この「関札」は大名等の休泊にあたり、本陣の玄関や宿場の出入口に掲げられました。本陣は旅籠屋等の一般の休泊施設とは異なり広大な敷地や立派な建物を有する施設でした。宿泊等に際しては、大名から本

陣に対して「被下金」(くだされきん)という形で使用料が下賜されます。「被下金」の金額は藩の規模や時期によって様々で、固定した料金ではありませんでした。しかし、「被下金」は本陣の収入源の一つでした。どの宿場の本陣も経営難で、一人でも多くの大名に使用してもらうため、本陣の主は必死になって大名に休泊を嘆願する勧誘活動を行いました。

起宿本陣の加藤家も大垣宿等に向いて、大名の休泊を嘆願しています。大名の休泊は本陣のみならず、宿場全体にも利益をもたらしました。起宿の資料からは本陣のみならず、宿場の経営のために奔走する本陣の主の姿が切実に伝わってきます。

なお、今年の十月十日より、十二月六日まで尾西歴史民俗資料館では「美濃路を行き交う大名」を開催いたします。今回、詳しく紹介できなかったことはこの特別展で紹介したいと思います。

▶ 関札 右・紀伊大納言殿宿 中・安藝少将宿 左・伏見殿姫宮御宿



▶ 起宿本陣及び問屋場跡



▶ 起川 尾張名所図会より

一宮市芸術文化協会役員

文学部					部	役職名	氏名	備考
詩部門	狂俳部門	川柳部門	俳句部門	短歌部門	部長		谷 一夫	一宮市長
青木小代子	太田康直	植田喜久男	坂井 齊	築城基裕	氏名		尾関良英	元一宮市教育長
一宮現代詩協会	一宮狂俳壇連盟	一宮川柳社	一宮市民俳句教室	真清短歌会	団体名		林 英夫	元尾西市教育長
			○				不破 皓	尾西ウインドオーケストラ
							加藤昌義	同派会
							寺西洋二	木曾川絵画同好会
							小島祥子	一宮音楽家協会
							細井 進	神道一刀流尾西吟剣詩舞会
							竹内 広	木曾川ライトソングクラブ

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

文社化部会			芸能部		音楽部						美術部				部			
社会文化部門	華道部門	茶道部門	芸能部門	舞踊部門	管弦楽部門	吹奏楽部門	器楽部門	声楽・合唱部門	吟剣詩舞部門	謡曲部門	邦楽部門	写真部門	書部	彫塑部門	デザイン・工芸	洋画部門	日本画部門	部門
	○		○					○						○				部長
柳原 たづ子	安立 高明	岩田 宗晋	木全 修	佐々 智恵子	浅井 英仁	越山 ちよ	久野 以早夫	鎌田 猛	森 恒夫	小川 統山	菱田 繁雄	林 大樹	森 昭夫	高山 悟	丹羽 桃慶			氏名
一宮アーティフィシャル フラワー協会鶴の会	一宮華道連盟	茶道裏千家	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	琴生流大正琴さつき会	一宮音楽家協会	一宮吟剣詩舞協会	竹石会	一宮三曲協会	中日真澄クラブ	社団法人中部日本書道会 一宮支部	一宮美術作家協会 /デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 /洋画部	桃墨会			団体名

加入団体一覧(その1)

部	部門	団体名	主な活動日時・場所
文学部	短歌部門	真清短歌会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		尾西短歌会	毎月第4木曜日：午後1時～ 朝日老人福祉センター
		青の樹短歌会	毎月第1土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター
	俳句部門	一宮市民俳句教室	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		一宮濃美句会	毎月最終土曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		北方俳句会	毎月第1水曜日：午後1時～ 下本郷公民館
		葉栗俳句教室	毎月第2火曜日：午後1時～ 葉栗公民館
		本町俳句会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
		ききょうの会	毎月第1木曜日：午後1時～ 大志公民館
		千秋老人俳句クラブ	毎月20日前後の火曜日または水曜日：午後1時～ 千秋公民館
		神山句会	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 神山公民館
		浅井土筆句会	毎月第3木曜日：午後1時～ 浅井公民館
		白緋俳句会	毎月第4日曜日：午後1時～ 宮山公民館 第2木曜日：午後1時～ 向山公民館
		尾西牡丹会	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		尾西句会	第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 他
		仏手柑句会	毎月第2日曜日：午後3時～ 応蓮寺
	一宮市尾西市民俳句会	毎月第3土曜日：午後1時30分～ 尾西歴史民俗資料館	
	尾西新樹会	毎月第1日曜日：午後1時30分～ 尾西歴史民俗資料館	
	川柳部門	一宮川柳社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
	狂俳部門	一宮狂俳壇連盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館
詩部門	一宮現代詩協会	事務局へお問合せください。	
	一宮漢詩濤聲會	毎月第1火曜日：午前10時30分～ 毎月第4土曜日：午後2時30分～ 豊島図書館	
美術部	日本画部門	一宮美術作家協会／日本画部	事務局へお問合せください。
		桃墨会	毎月第2・4火曜日：午前10時～ 土曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター 他
		尾西作家協会	事務局へお問合せください。
	洋画部門	一宮美術作家協会／洋画部	事務局へお問合せください。
		尾西絵画クラブ	毎月第2土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
		彩の会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター
		水絵の会	毎月第1・3金曜日：午前10時～ 第2土曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
		鈴木田油絵教室	年間約30回：1回2時間 三岸節子記念美術館
		楽しく描こう会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
		尾西水彩画会	毎月第1・3土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
		ポピーの会	毎週水曜日：午前10時～ 講師宅
		尾西ガリバンパンの会	毎月第2・4金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		パレット会	毎月第2・4木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター
		木曾川絵画同好会	毎月第2・4日曜日：午後1時30分～ 木曾川公民館北館
		ブルシャンプルー	毎週木曜日：午後1時30分～ 尾西南部生涯学習センター
		イエローオーカー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター
	山ぶどうの会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター	
	デザイン・工芸彫塑部門	一宮美術作家協会／デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。
		尾西陶芸クラブ	4月、8月に1週間程度：午前9時～ 尾西文化広場
		陶順会	毎週火・土曜日：午前9時～ 朝日老人福祉センター
		楽陶会	隔週木曜日：午後1時～ 講師宅
		美省会	毎月第1・3日曜日：午後1時～ 講師宅
	書部門	尾張もめん伝承会	毎月第4日曜日：午後2時～ 産業体育館
		社団法人中部日本書道会 一宮支部	事務局へお問合せください。
		麗筆会	事務局へお問合せください。
		象友会	毎月第1・3水曜日：午前10時～ 土曜日：午後1時30分～ 吉田公民館
	写真部門	日中古墨書道友好協会尾張支部	毎週日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
		一宮写真協会	事務局へお問合せください。
	中日真澄クラブ	中日真澄クラブ	事務局へお問合せください。
		一宮三曲協会	事務局へお問合せください。
邦楽部門	三山会	月1回日曜日：午後2時～ 講師宅	
	里音会	毎週土曜日：午後1時～ 金剛幼稚園または伝来寺	
	すみれ箏の会	毎週月・木曜日：午前9時～ 講師宅	
	美友会	週1回(随時)：午後1時～ 講師宅	
	藤乃会 尾西教室	(随時) 講師宅	
	尾西三味線熹世智会	毎週木曜日：午前9時～ 午後1時～ 小信中島つどの里	
	相生・中日文化会	毎月第2・4木曜日：午後6時～ ルポテンサンビル	
謡曲部門	いづみ会	毎週土曜日：午後1時～ 奥公民館	
	竹石会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 真清田神社	

加 入 団 体 一 覧 (その2)

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所		
	謡 曲 部 門	市 職 ク ラ ブ ・ 緑 風 会	毎週火曜日：午後6時～ その他、事務局へお問合せください。		
		誠 諷 会	毎月第2・4火曜日：午前9時30分～ 河端公民館 毎月第1・3水曜日：午後1時30分～ 島村公民館		
		清 宵 ・ 蘇 水 会	毎週月曜日：午後1時～ 宮西公民館		
		丹 謡 ・ 萩 謡 会	毎週土曜日：午後6時30分～ 丹陽公民館		
		紅 韻 会	毎週月・木・土曜日：午前10時～ 講師宅		
	吟 剣 詩 舞 部 門	一 宮 吟 剣 詩 舞 協 会	事務局へお問合せください。		
		雅 芳 流 嶋 邦 吟 詠 会	毎週金曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター 毎週土曜日：午前10時～ 尾西文化広場		
		尾 西 詩 吟 ク ラ ブ	月に3～4回 日曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター		
		神道一刀流尾西吟剣詩舞会	毎週1～2回：午後1時～ 小信中島つどいの里 他		
		剣 詩 舞 道 柳 翠 会	毎週金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター西館 他		
		濃 尾 吟 詠 会	毎週金曜日：午後7時～ 木曾川公民館		
		曾山流樹徳吟詠会 山瑩会	毎週水曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター西館 月・金曜日：午後1時～ 山瑩会教室		
	声 楽 ・ 合 唱 部 門	一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。		
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。		
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日：午後7時～ カトリック一宮教会		
		尾 西 混 声 合 唱 団	月3回土曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター西館		
		女 声 合 唱 団 蓮	毎週土曜日：午後1時30分～ 尾西生涯学習センター		
		長 澤 民 謡 会	毎週月～土曜日：講師宅 その他、事務局へお問合せください。		
		佳 富 士 会	毎月第2・4日曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター		
	器 楽 部 門	尾 西 民 謡 薫 世 智 会	毎月第4木曜日：午後7時～ 小信中島つどいの里		
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	毎週金・土曜日：午後1時～ 尾西文化広場		
		琴 伝 流 大 正 琴 琴 女 会	毎週火曜日：午前10時～・午後1時～ 毎週金曜日：午前10時～ その他、事務局へお問合せください。		
		大 正 琴 カ ト レ ヤ 会	月3回土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター		
		琴 生 流 大 正 琴 さ つ き 会	毎月第2・4土曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター		
		清 の 琴 ・ ロ マ ン ス ハ ー プ	毎週火曜日：午後1時～ 毎週木曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター		
		安 美 & コ ン プ リ オ	日曜日 その他、事務局へお問合せください。		
	吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	木 曾 川 ラ イ ト ソ ン グ ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日：午後7時～ 木曾川公民館		
		一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター		
	芸 能 部	舞 踊 部 門	尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ	毎週日曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館	
			一 宮 舞 踊 協 会	事務局へお問合せください。	
			ハ ワ イ ア ン ・ フ ラ	毎週火曜日：午前9時～ 毎週水曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター西館	
			新 舞 踊 あ す か 会	毎週水曜日：午後6時～ 起つどいの里	
			坂 東 流 百 喜 久 会	毎週金曜日：午前9時～ 尾西生涯学習センター	
		芸 能 部 門	百 の 会	毎週土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター	
			扇 寿 々 会	毎週月曜日：午前9時30分～ 火曜日：午後7時～ 向山公民館	
		社 会 部	茶 道 部 門	一 宮 民 俗 芸 能 連 盟	事務局へお問合せください。
				同 派 会	事務局へお問合せください。
				弥 生 会	事務局へお問合せください。
				茶 道 表 千 家	事務局へお問合せください。
				茶 道 裏 千 家	事務局へお問合せください。
尾 西 玉 香 会				月各3回 日曜日：午前9時～ 火曜日：午後2時～ 講師宅 他	
尾 西 表 千 家 木 野 (文) 会				月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅 他	
尾 西 緑 寿 会				月3回 土曜日：午後1時30分～ 講師宅	
尾 西 清 真 会				毎週月・火曜日：午後1時～ 講師宅 他	
表 千 家 尾 西 古 田 社 中				毎週月曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター 毎週金曜日：午前10時～ 講師宅 他	
華 道 部 門	裏 千 家 尾 西 杉 本 社 中		毎週月・水曜日：午後7時～ 金曜日：午前10時30分～ 午後1時～ 講師宅 他		
	松 風 会		毎週水曜日：午後5時～ 講師宅		
	一 宮 華 道 連 盟		事務局へお問合せください。		
	池 坊 会		事務局へお問合せください。		
	則 風 会		事務局へお問合せください。		
	尾 西 玉 香 会		月各3回 日曜日：午前9時～ 火曜日：午後2時～ 講師宅 他		
	尾 西 小 原 流 算 社 中		月3回 土曜日：午後1時30分～ 講師宅 他		
	尾 西 池 坊 木 野 (文) 会		月3回 土曜日：午後2時～ 講師宅		
	小 原 流 尾 西 古 田 社 中		毎週金曜日：午後6時～ 尾西生涯学習センター 金曜日：午前10時～ 講師宅 他		
	尾 西 花 紘 会		毎月第4日曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター 他		
社 会 文 化 部 門	一宮アーティフィシャルフラワー協会 鶴の会	毎週金曜日：午前10時～ 一宮地域職業訓練センター			
	一宮アーティフィシャルフラワー協会 風雅の会	毎週木曜日：午前10時～ 一宮地域職業訓練センター			
	一宮アーティフィシャルフラワー協会 彩華の会	月2回：午後1時30分～ 一宮地域職業訓練センター			
	歌 楽 会	毎月第3日曜日：午後7時～ 代表者宅			
	若 芽 会	事務局へお問合せください。			
花 千 会	毎月第1・3水曜日：午後1時～ 講師宅 第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター				

『いちのみや文芸2009』作品募集

1、募集種目

①随想・随筆 一人一編

(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

②現代詩 一人一編

(本文は、4000字詰
原稿用紙3枚以内)

③漢詩 絶句、一人2首以内

④短歌 一人8首以内

⑤俳句 一人10句以内

⑥川柳 一人10句以内

⑦狂俳 一人10句以内

2、応募上の注意

①応募は、一人3種目以内と
します。

②用紙は、A4判の4000字
詰原稿用紙とし、種目ごと
に別紙を用いてください。

ワープロなどの機器を使用
する場合は、A4判白無地
の用紙を横長に用い、20字
×20行で印字してください。

③原稿は縦書きとし、文字は
正確に読みやすく書いてく
ださい。

④原稿には、欄外に種目を記
してください。

入してください。その他に

氏名、号(必要に依じて)、

年齢、住所(番地まで正確

に)、郵便番号、電話番号

を記入してください。なお、

氏名および号には振り仮名

をつけてください。

⑤応募原稿は返却しません。

3、応募資格

市内在住・在勤または一宮

市芸術文化協会加入団体に所

属している人

4、作品の採否

応募作品の採否については、
編集委員会で決定します。

5、応募方法

〒493-8511(住所記載不要)

一宮市芸術文化協会事務局

『いちのみや文芸』係

(一宮市教育委員会 生涯学

習課内)までお送りください。

7月1日(必着)

6、発刊予定

平成21年10月19日(月)

1冊800円(予定)

『いちのみや民俗芸能のつどい』



- 日時 8月23日(日) 正午～
- 会場 一宮市民会館
- 内容 一宮民俗芸能連盟の加盟団体が市内各地に伝わる民俗芸能を上演します。
- 入場料 無料

出演予定団体 石刀祭山車保存会、北方ばしょう踊保存会、一宮真清伶人会、馬寄木遣音頭保存会、宮後住吉踊保存会、島文楽保存会、機織唄保存会、馬場獅子屋形打囃子保存会、瀬部山車・臼台祭保存会、黒岩山車保存会のみなさん

尾西句会は、近年、一宮市尾西南部生涯学習センターが出来てから、毎月第2金曜日と第3土曜日を活動日とし、会員の皆さんはいずれか都合の良い日に出席しています。時々は合同で開催し、全員が顔を合わせる事もあり、講師の久保武先生の指導のもと、楽しい雰囲気の中で、俳句の有様を教わっています。

会場の周囲は豊かな田園地帯の風景に恵まれて自然を詠む眼目の私達には大変良い環境の中にあります。

また、もう一つの会場である一宮市尾西生涯学習センターの窓からは、天気の良い日には霞の彼方に名古屋の高層ビル群を望むこともできます。

時には皆さんで吟行に出掛けたり、また家族旅行の場合でも沢山の句を会に持ち寄ることを楽しみにしています。中には体調を崩したり、看病や孫の子守りに専念しなくてはならない方もみえますが、それぞれ病気の句、看病の句、孫の句など、いろいろな句が発表されるのも一興となり、互いに励まし合ったり、慰め合ったりしながら、たと

え決まりの数でなくても参加できるよう、誘い合うよう心掛けています。

卒業式孫弾くピアノ感無量	英子
春分の市バスに小さき日章旗	孝子
種おろし十雨程よき畑湿り	史郎
梅ヶ香に酔ふまで磴を登りきり	節子
観照す梅と俳句の百梅園	恭治
夕四時で閉店喫茶日永なる	禎子
潮流信号機海里で表示風光る	正名



◀ 南部生涯学習センターにて

【問合せ先】岩田 澄子 ☎62-7658

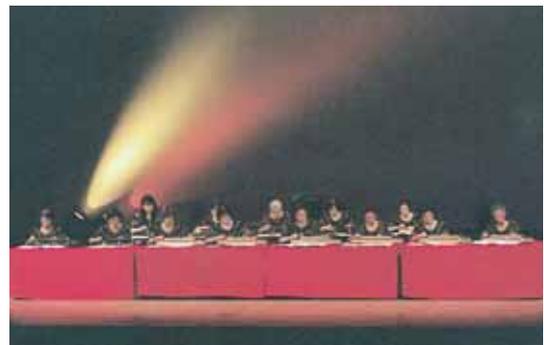
大正琴は、その名が示すように大正時代に考案された楽器であり、以来その独特な音色が今日まで多くの方々に愛され続けています。

琴伝流が発足して三十余年、琴伝流の唱えた「大正琴アンサンブル」は、それまでの大正琴に革命的な変化をもたらし、今日までに小さな大正琴が全国の30万人の仲間の輪を作っています。

私達「琴女会」も微力ではありますが、一宮市を中心に地域の芸能祭等のイベントへの出演や琴伝流の全国大会への出演、また福祉施設への慰問演奏も積極的に行っています。特に福祉施設への慰問は世代を超えた方々と演奏に合わせて一緒に手拍子をしながら歌ったりします。時には懐かしい歌を聴き涙を流して喜んでもらえます。そして「また来てね」と言う言葉に私達も励まされ、次からの練習への力をいただきます。また、このよ

うに大正琴という音楽を通じて気力が沸き、前向きな日々を過ごし「心の豊かさ」が芽生えるのだと実感しています。

音符が読めなくても手軽に始められるのが大正琴です。皆さんも是非、私達と一緒に「心の豊かさ」を味わってみませんか。



◀ 尾西芸能祭

【問合せ先】吉川 美千恵 ☎0587-97-0927

竹石会は、戦後まもなく謡曲好きの人達が集まり、プロの先生(現在は3代目、大阪在住の観世流職分、下田雄三師)に習いたいということでスタートしてから早いもので60年が経ちました。

謡曲は能の台本ですが、能のなかの狂言パートを抜いた主要な部分をシテ・ワキ・ツレ・地謡など演者がその役者になりきって正座で謡うものです。仕舞は能の中で最も象徴的な部分を舞うものですし、舞囃子は仕舞に笛、鼓、太鼓の囃子を付けて演ずるものです。稀に会員の中で能に挑戦し、演能することもあります。

約600年前の南北朝の頃、観阿弥・世阿弥父子によって大成された能は支配階級とともに発展し、江戸時代には式楽の地位を得て安定しました。近年は200箇所で開催が毎年行われるなど大衆化が進みました。しかし、娯楽的な舞台芸能ではなく、無駄な要素を除き、エッセンスのみを表現する静寂の芸術としての謡曲を理解しなければその重要な世界観である「幽玄」を理解することは難しいとされています。

私達は、毎月1回真清田神社の桃丘亭を拝借し、お稽古に励んでいます。1月には男性は神歌、女性は梅をそれぞれ神前で奉納し、世の中の安寧と会員各人の幸せを祈ります。その後は新年謡会を行い、夕方まで7～8番演じます。

会員の活動で欠かせないのは、235番ある謡に因んだ名所、旧跡を旅行することです。謡曲の世界に思いを馳せながら、各地を訪ねることは格別です。



仕舞
花筐はなかご

【問合せ先】加藤 寿夫 ☎62-0966

旧尾西市の文化講座「水彩画入門」で、いろいろと幅広く教えていただいた受講生達が、自主活動グループ「水絵の会」をつくり、十余年になります。そしてこの会は、水彩画に親しみ、楽しく描くことを第1に活動しています。

活動日は、毎月3回で第1金曜日と第3金曜日の午前10時からと第2土曜日の午後1時からのそれぞれ2時間です。会場は尾西南部生涯学習センターです。和やかで家庭的な雰囲気ですが、会員はみんな真剣に作品制作に取り組んでいます。

春と秋の金曜日には、138タワーや稲沢市の祖父江緑地、山崎の祐専寺付近など身近な場所で野外写生をし、桜の咲く風景、まばゆい新緑の清々しさ、深まってゆく秋と紅葉の鮮やかさを愛でています。

夏と冬は、会員の持ち寄った花や果物、人形などの静物画に取り組んでいます。また、年1回、

1泊のスケッチ旅行も行っています。

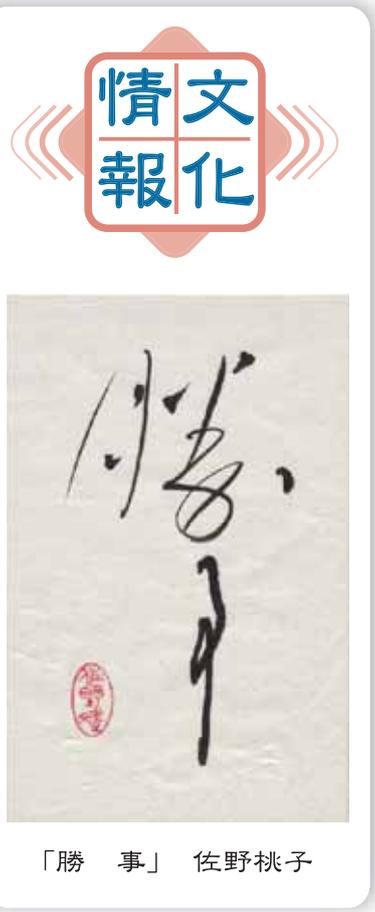
発表の場としては、6月にスケッチ展を尾西歴史民俗資料館で行い、9月には多くの団体と交流を深めるために尾西展を三岸節子記念美術館で共催し、12月頃には、水絵の会展を同美術館で行っています。

興味のある方は、お気軽に会場まで足をお運びください。



教室にて

【問合せ先】不破 富夫 ☎62-3042



「勝事」 佐野桃子

《市および市内公共施設の催し》

一宮市博物館
☎(46)3215

企画展「茶の湯の浸透」

日時 ● 6月20日(土)～7月26日(日)

午前9時30分～午後5時
(入館は午後4時30分まで、
月曜休館、以下同じ)

内容 ● 江戸時代後期に村で行われていた茶の湯を通して、村における文化展開の一端を紹介。

観覧料 ● 一般 200円
高大生 100円
小中生 50円

市内小中生・65歳以上無料 (以下同じ)

「2009 一宮美術作家協会展」

日時 ● 8月29日(土)～9月13日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 ● 最新の発想でイメージの試作を展開した日本画、洋画、彫塑・立体、デザイン、工芸を展示。

「一宮写真協会展」

日時 ● 9月17日(木)～9月27日(日)

午前9時30分～午後5時

内容 ● 感性に裏打ちされた表現力で、熱い思いを込めた作品を展示。

三岸節子記念美術館
☎(63)2892

常設展「三岸節子 色と形のものがたりーその画業の全貌ー」

日時 ● 6月23日(火)～8月30日(日)

観覧料 ● 一般 320円

高大生 210円
小中生 110円

65歳以上無料、7月11日から小中学生無料 (以下同じ)

企画展2009夏休みの美術館

「津田直展」

日時 ● 7月11日(土)～8月16日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● 7回目を迎える夏休みの美術館では写真家の津田直氏を紹介し、目の前にあるものを「切り取る」という写真のドキュメント性と想像力の融合を展示、ワーケーションを通して体感してください。

「子どもミュージアム」楽しいね！「節子さん」。美術館プロジェクト

日時 ● 7月18日(土)～8月30日(日)

午前9時～午後5時

内容 ● 作品と親しくなるようなワークショップやクラフトプログラム、クイズなど開催
わくわくワークショッププログラム
講師 ● 山口百子 (美術家)

① 「星☆ふるクロス」 7月23日(木)

② 「ナミウツ・へんしん・ペーパー」 7月30日(木)

③ 「さかさま？よこむき？びつくりハウス」 8月6日(木)

④ 「あなたの肖像？私のルーツはどんな人？」 8月11日(木)

⑤ 「のぞいてえがく！ミクロの世界」 8月18日(木)

※要申込・参加費

どきどきクラフトプログラム

3種類のクラフトキットに挑戦したり、美術館のクイズに答えたり、楽しく作品と触れ合います。

尾西歴史民俗資料館
☎(62)9711

「企画展 館藏品展」

日時 ● 7月18日(土)～8月30日(日)

午前9時～午後5時 (入館は午後4時30分まで、休館日 7月20日(月)を除く月曜)

日、7月21日(火)

内容 ●資料館に収蔵されている資料を小中学生にもわかりやすく紹介します。

観覧料 ●無料

青年の家

☎(73)2400

「青年のつどい サマーフェスティバル・盆踊りの夕べ」

日時 ●7月4日(土)・5日(日)

午後5時30分～8時30分
(5日は8時まで)

いずれも雨天中止

内容 ●盆踊り、おもちゃ・飲み物等の販売

参加料 ●無料

一宮市民会館

☎(71)2021

渡辺美里コンサートツアー2009

Dear My Songs ～輝く～

日時 ●7月20日(祝) 午後5時開演

入場料 ●6,800円(全席指定)

未就学児入場不可

懐かしの歌声サロン2009

～爽秋のうた模様～

日時 ●9月6日(日)

午後1時30分開演

会場 ●1階大会議室

内容 ●生演奏による懐かしい音楽
合唱の集い(市民参加型)

入場料 ●500円(全席自由・お

茶付)

先着120名、未就学児
入場不可

一宮市尾西市市民会館

☎(62)8222

「桂三枝独演会」

日時 ●9月13日(日) 午後2時～

入場料 ●3,500円(全席指定)

未就学児入場不可

一宮地域文化広場

☎(51)2180

「天体観望会」

日時 ●6月26日(金)・27日(土)

午後7時30分～

月齢3.7～4.7の月、土星

7月24日(金)・25日(土)

午後7時30分～

土星、子持ち銀河(M

51)、こと座のダブルタ

ブルスター(四重星)

8月21日(金)・22日(土)

午後7時30分～

木星、ヘラクレス座球状

星団(M13)、こと座の

リング状星雲(M57)

9月18日(金)・19日(土)

午後7時～

木星、こと座のリング状
星雲(M57)

申込み ●詳細はお問い合わせ下さい。

参加料 ●無料

一宮市 芸術文化協会 加入団体の 催し

『市民川柳教室』

【問合せ先】一宮川柳社

☎45-8045

日時 ▼6月28日(日)・7月26日(日)・

8月23日(日) 午後1時～

会場 ▼一宮スポーツ文化センター

内容 ▼自由吟および課題吟を一宮

川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 ▼無料

申込み ▼当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先】一宮市民俳句教室

☎73-5504

日時 ▼6月28日(日)・8月23日(日)

午後1時～

会場 ▼一宮スポーツ文化センター

内容 ▼当季雑詠3句を一宮市民俳句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料 ▼無料

申込み ▼当日直接会場

『市民短歌教室』

【問合せ先】真清短歌会

☎72-6606

日時 ▼7月12日(日)・8月9日(日)・

9月13日(日) 午後1時～

会場 ▼一宮スポーツ文化センター

内容 ▼真清短歌会委員により実作指導します。

(初心者歓迎)

参加料 ▼無料

申込み ▼当日直接会場

『おりもの感謝祭 一宮七夕まつり 第37回学生書道展 第16回書道連盟選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】
☎ 73 19503

日時 ▼ 7月11日(土)・12日(日)

午前10時〜午後4時(11日 午後1時〜)

会場 ▼ 一宮スポーツ文化センター

内容 ▼ 上位作品と役員、指導者の作品を展示。

入場料 ▼ 無料

『七夕まつりコンサート』

【問合せ先 一宮市民吹奏楽団】

☎ 44 17188

日時 ▼ 7月26日(日)

午後5時〜6時(予定)

会場 ▼ 真清田神社特設舞台

観覧料 ▼ 無料

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎ 45 16702

日時 ▼ 8月8日(土)・9月12日(土)

午後1時〜

会場 ▼ 葉栗公民館

内容 ▼ 各自10句持参、互選により

優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料 ▼ 無料

『黒岩山車保存会 川祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎ 84 10013 (以下同じ)

日時 ▼ 8月1日(土) 午後7時〜

会場 ▼ 石刀神社(浅井町黒石)

『島文楽保存会 虫干し』

日時 ▼ 8月2日(日) 午前9時〜

会場 ▼ 島村公民館(島村字岩畑)

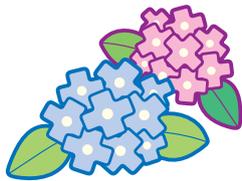
内容 ▼ 市の有形文化財である島村

地区の文楽人形を虫干しを

『瀬部山車・臼台祭保存会 臼台祭』

日時 ▼ 8月16日(日) 午後6時30分〜

会場 ▼ 八剣社(瀬部字大門)



感謝状が贈られました

4月24日(金)、一宮市芸術文化協会評議員会の会場において、一宮市芸術文化協会の発足に多大に寄与され、発足後も本市の芸術文化の振興にご尽力されました岩田哲夫様、岡田春雄様、墨利春様へその永年に亘る功績を称え、尾関会長より感謝状が贈られました。

編集後記①

本号から編集後記を不定期で載せさせていただきます。

この情報誌「いちのみやの芸術文化」が少しでも身近なものに感じていただければ、幸いです。

今回の編集委員会では、表紙の図絵「起川」について一番議論が盛り上がりました。(編集作業そこのけで)

起川という名称は、もう使われていませんが、現在は「木曾川」として当然のように地図に載っています。

住む場所、時代、その時々で川の呼び名も違っていたようです。

『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体のイベント情報を募集します。発行月3・6・9・12月の前月1日までに、必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

必要事項

- ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場
⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

提出先

〒493-8511 一宮市芸術文化協会事務局(住所不要)
または FAX 0586-86-1809

【題 字】武 山 翠 屋
【編集・発行】一宮市芸術文化協会

【連絡先】一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒493-8511 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り27番地
TEL 0586-84-0013 / FAX 0586-86-1809